



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日
東

上場会社名 粧美堂株式会社

上場取引所

コード番号 7819

URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉藤 政基 (TEL) 03-3472-7890

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	17,352	6.1	1,613	35.4	1,544	32.9	926	13.9
2025年9月期第3四半期	16,352	4.0	1,191	34.8	1,161	31.9	813	20.4

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 1,207百万円(68.1%) 2025年9月期第3四半期 718百万円(△40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	71.38	—
2025年9月期第3四半期	61.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	16,845	7,557	43.0
2025年9月期	16,321	7,810	45.5

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 7,235百万円 2025年9月期 7,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	11.50	—	16.50	28.00
2026年9月期	—	16.50	—		
2026年9月期(予想)				16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	4.0	1,800	22.5	1,730	17.0	1,050	7.4	81.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期3Q	13,410,000株	2025年9月期	13,410,000株
2026年9月期3Q	772,626株	2025年9月期	200,227株
2026年9月期3Q	12,980,402株	2025年9月期3Q	13,209,773株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年10月1日～2026年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持したものの、原材料・資源価格の高騰などから物価は上昇し、インフレによる実質賃金の低下により個人消費には足踏みが見られます。また、海外情勢の一層の緊迫化により地政学リスクは日増しに高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当連結会計年度は、近年推進し成果を上げている施策を継続し、さらなる成長を目指しています。具体的には、NB（ナショナルブランド）ビジネスではメイクツール、キャラクターコスメ、キッズコスメなど「粧美堂と言えば」の商品カテゴリーに注力し、自社企画商品の総合的な商品力を強化することで、「粧美堂」ブランドの価値向上を継続的に図っています。PB（プライベートブランド）ビジネスでは、海外の新たな協力生産拠点の拡充により、コスト削減・品質向上・商品カテゴリーの拡充を進め、全国展開をしている大手重点販売先のニーズに応えることで「モノづくりのパートナー」としてのシェア拡大を推進しています。社内リソースをモノづくりのセクションに集中的に投下した結果、最終消費者の支持を獲得するとともに、円安や原材料価格の高騰を吸収しつつ販売単価が上昇したことが、直近の利益率改善の主因であると考えております。

また全社横断組織であるDX推進室を中心に、社内DXの推進に継続的に取り組んでいます。BI（ビジネスインテリジェンス）ツールを導入し、出荷データをはじめとする社内の各種データを分析・可視化することで、経営および営業現場における迅速かつ的確な意思決定を支援し、商品開発力強化や生産性向上を目指しています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比6.1%増の17,352,531千円と増収となり、売上総利益額は5,921,885千円で対前年同期比15.8%増となりました。同利益率は34.1%と対前年同期比2.8%増と上昇することができました。これは当社が従来から進めている粧美堂ブランドの価値の向上により、利益率が相対的に高いNB（ナショナルブランド）商品の比率が上昇したことや高付加価値品へのシフトにより商品単価の上昇が寄与した結果と分析しております。販売費及び一般管理費は販売促進費、物流費などが増加し、対前年同期比9.8%増の4,308,819千円となりましたが、売上総利益の大幅な改善でコスト増を吸収したことや前連結会計年度に当社グループ入りした株式会社ピコモンテ・ジャパンが寄与したことから営業利益は対前年同期比35.4%増の1,613,066千円、経常利益は対前年同期比32.9%増の1,544,132千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比13.9%増の926,574千円と各段階利益で大幅な増益となりました。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

①化粧品

当分類にはメイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上高が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、人気キャラクターや食品IPをあしらったメイクアップ用品、スキンケア用品、キッズコスメなど化粧品全般が引き続き好調な他、前連結会計年度にグループ入りした株式会社ピコモンテ・ジャパンの寄与もあり6,948,432千円（対前年同期比9.4%増）と増収となりました。

②化粧雑貨

当分類にはメイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上高が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、重点販売先向けのPBにてメイク関連雑貨は好調に推移しましたが、他社メーカー仕入商品の減少もあり全体としては5,108,766千円（対前年同期比0.8%減）と微減となりました。

③コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、NB商品については好調に推移しましたが、一部のOEM商品について取引採算を重視し選別受注を行ったため1,641,583千円（対前年同期比2.4%減）と減少しました。

④服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、人気キャラクターをあしらったポーチなどの雑貨類が引き続き好調に推移し2,362,222千円（対前年同期比12.9%増）と増収となりました。

⑤その他

当分類には、ペット用品を含む生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、大手ディスカウントショップ向けの限定人気キャラクター商品を導入し好調に推移したため、1,291,527千円（対前年同期比19.8%増）となり、大幅な増収となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産）

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて524,249千円増加し、16,845,506千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて724,643千円増加し、12,883,556千円となりました。

これは主に、商品が330,928千円、為替相場の変動等により為替予約が265,392千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて200,393千円減少し、3,961,950千円となりました。

これは主に、債券の償還等により投資有価証券が191,802千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて777,601千円増加し、9,288,234千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて401,965千円減少し、5,557,804千円となりました。

これは主に、未払法人税等が369,177千円、その他が115,432千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,179,567千円増加し、3,730,430千円となりました。

これは主に、長期借入金が1,014,880千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて253,352千円減少し、7,557,272千円となりました。

これは主に、利益剰余金が500,098千円増加したこと等に対し、自己株式が750,221千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表いたしました2026年9月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,729,946	4,793,830
電子記録債権	389,702	365,415
売掛金	3,280,379	3,375,091
有価証券	280,000	280,000
商品	2,236,051	2,566,980
貯蔵品	241,198	230,483
為替予約	625,622	891,014
その他	379,392	384,016
貸倒引当金	△3,379	△3,276
流動資産合計	12,158,913	12,883,556
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,246,093	1,246,093
その他（純額）	894,642	856,987
有形固定資産合計	2,140,736	2,103,081
無形固定資産		
のれん	19,992	13,328
その他	99,690	103,393
無形固定資産合計	119,683	116,722
投資その他の資産		
投資有価証券	1,465,115	1,273,312
その他	442,202	474,330
貸倒引当金	△5,393	△5,496
投資その他の資産合計	1,901,924	1,742,146
固定資産合計	4,162,344	3,961,950
資産合計	16,321,257	16,845,506
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	357,031	392,143
買掛金	1,047,828	1,121,486
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,478,984	1,548,996
未払法人税等	470,162	100,984
賞与引当金	185,000	88,863
その他	1,020,763	905,330
流動負債合計	5,959,770	5,557,804
固定負債		
長期借入金	2,193,879	3,208,759
役員退職慰労引当金	161,310	153,200
資産除去債務	32,746	32,988
その他	162,927	335,483
固定負債合計	2,550,863	3,730,430
負債合計	8,510,633	9,288,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	147,983
利益剰余金	6,039,594	6,539,693
自己株式	△81,071	△831,293
株主資本合計	6,768,336	6,401,882
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	137,781	144,708
繰延ヘッジ損益	396,587	546,861
為替換算調整勘定	115,683	142,535
その他の包括利益累計額合計	650,052	834,105
非支配株主持分	392,235	321,283
純資産合計	7,810,624	7,557,272
負債純資産合計	16,321,257	16,845,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	16,352,725	17,352,531
売上原価	11,237,000	11,430,646
売上総利益	5,115,724	5,921,885
販売費及び一般管理費	3,924,390	4,308,819
営業利益	1,191,334	1,613,066
営業外収益		
受取利息	14,760	16,212
受取配当金	3,192	4,944
受取手数料	6,347	5,590
不動産賃貸収入	7,357	7,192
保険解約返戻金	—	13,040
その他	4,267	234
営業外収益合計	35,925	47,214
営業外費用		
支払利息	28,780	53,159
為替差損	19,922	58,134
出資金評価損	14,720	—
その他	2,389	4,853
営業外費用合計	65,813	116,148
経常利益	1,161,446	1,544,132
特別利益		
関係会社株式売却益	64,562	—
特別利益合計	64,562	—
税金等調整前四半期純利益	1,226,009	1,544,132
法人税、住民税及び事業税	391,797	415,203
法人税等調整額	7,465	105,443
法人税等合計	399,262	520,646
四半期純利益	826,747	1,023,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,950	96,911
親会社株主に帰属する四半期純利益	813,796	926,574

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	826,747	1,023,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,984	6,926
繰延ヘッジ損益	△116,356	150,273
為替換算調整勘定	△17,004	26,852
その他の包括利益合計	△108,376	184,052
四半期包括利益	718,370	1,207,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	705,419	1,110,627
非支配株主に係る四半期包括利益	12,950	96,911

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月19日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式27,601株を処分した一方、2026年3月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式600,000株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が750,221千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が831,293千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは、化粧品、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	166,826千円	169,881千円
のれんの償却額	26,049千円	6,664千円